

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 6 月 23 日

静岡県知事 川勝 平太 殿

提出者

住所 東京都品川区大崎一丁目6番3号

(連絡先) 静岡県袋井市愛野2345

氏名 NSKワナー株式会社

取締役社長 新井 稔

電話番号 0538 (43) 1121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	NSKワナー株式会社
事業場の所在地	袋井市愛野2345
計画期間	2022年4月1日 ~ 2023年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	輸送用器具製造業 [E31]
②事業の規模	売上高 565億円(2022年3月期)
③従業員数	944人(2022年3月現在)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1参照

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（R3年度）実績】

産業廃棄物の種類	別紙3参照	
排出量	別紙3参照（t）	

（これまでに実施した取組）
別紙3参照

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	別紙3参照	
排出量	別紙3参照（t）	

（今後実施する予定の取組）
別紙3参照

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状

（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
廃プラスチック類
・PPバンド、汚れていないビニール類は他の廃プラスチック類とは分別して回収

②計画

（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
継続的取組
・廃プラスチック類の分別廃棄の徹底
・事業系廃棄物（紙類）の分別徹底
・廃製品箱、廃パレットの有価売却

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項		
①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項		
①現状	【前年度（ R 0 3 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	8891.1
(これまでに実施した取組) ・脱水機の維持管理 (濾布交換及び洗浄：含水率低下による脱水汚泥発生量抑制)		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	脱水汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	8802.1
(今後実施する予定の取組) 継続取組項目 ・脱水機の維持管理 (濾布交換及び洗浄：含水率低下による脱水汚泥発生量抑制)		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ R 3 年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙4参照
	全処理委託量	別紙4参照 (t)
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙4参照 (t)
	再生利用業者への処理委託量	別紙4参照 (t)
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙4参照 (t)
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙4参照 (t)
(これまでに実施した取組)		
別紙4参照		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙4参照	
	全処理委託量	別紙4参照 (t)	
	優良認定処理業者への処理委託量	別紙4参照 (t)	
	再生利用業者への処理委託量	別紙4参照 (t)	
	認定熱回収業者への処理委託量	別紙4参照 (t)	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	別紙4参照 (t)	
(今後実施する予定の取組) 別紙4参照			
※事務処理欄			

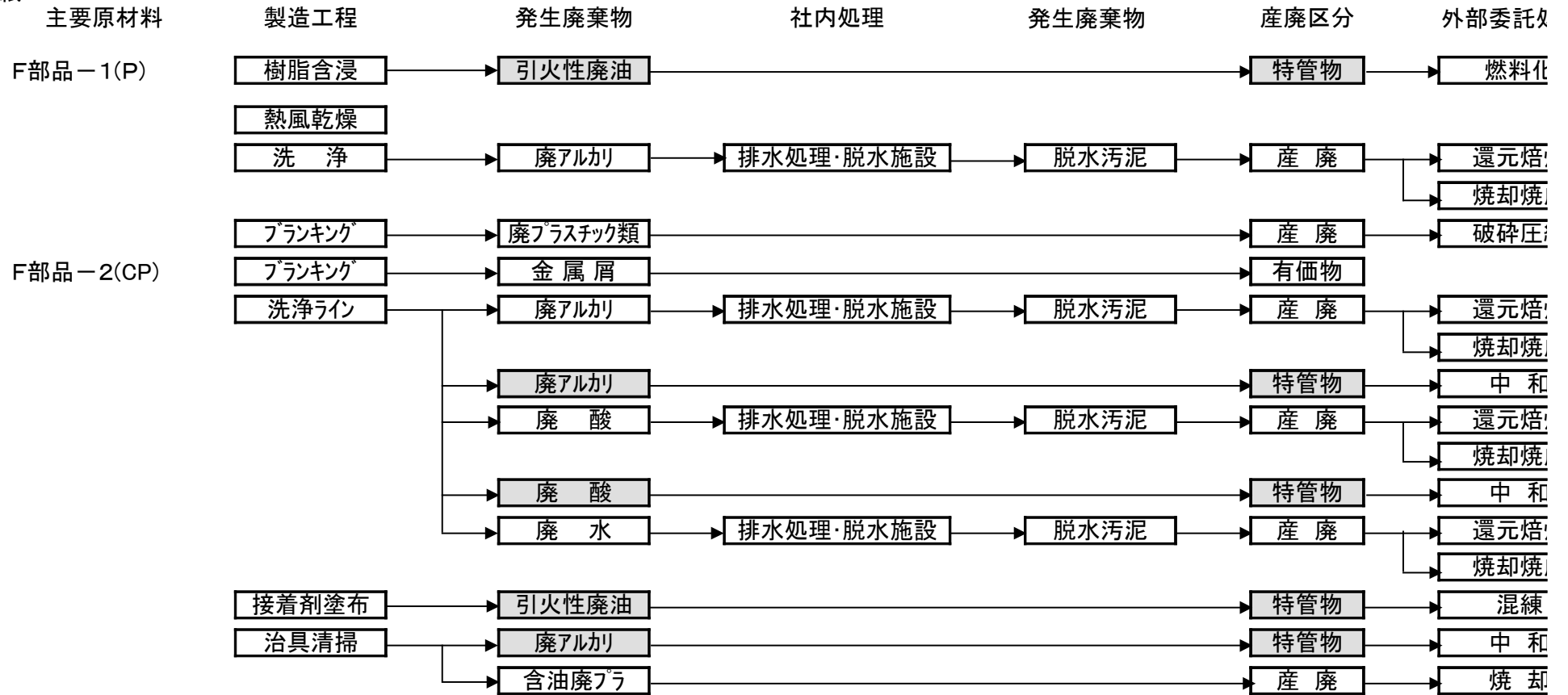
(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

FP製造・廃棄物フローシート

別紙1-1
主要原材料



FP製造・廃棄物フローシート

別紙1-2
組立(半製品)

組立

加熱・加圧

塗油

検査

出荷

廃油

廃プラスチック類

金属屑

有価物

産廃

有価物

再生

燃料化

破碎圧

F部品-3(SP)

プランキング

曲げ加工

表面仕上

廃油

汚泥

排水処理

排水処理・脱水施設

排水

脱水汚泥

産廃

還元焙

焼却焼

加工品

脱脂洗浄

廃アルカリ

腐食性廃アルカリ

排水処理・脱水施設

排水処理・脱水施設

脱水汚泥

脱水汚泥

産廃

特管物

有価物

還元焙

焼却焼

中和

再生

組立

仕上加工

検査

その他

研磨機

その他清掃

廃油

汚泥

廃油

汚泥

廃アルカリ

産廃

産廃

産廃

産廃

特管物

油水分

天日乾

油水分

天日乾

還元焙

中和凝

特別管理産業廃棄物

FP製造・廃棄物フローシート

処理

焼

成

縮

焼

成

焼

成

焼

成

FP製造・廃棄物フローシート

□

縮

焼

成

焼

成

□

□

離

燥

離

燥

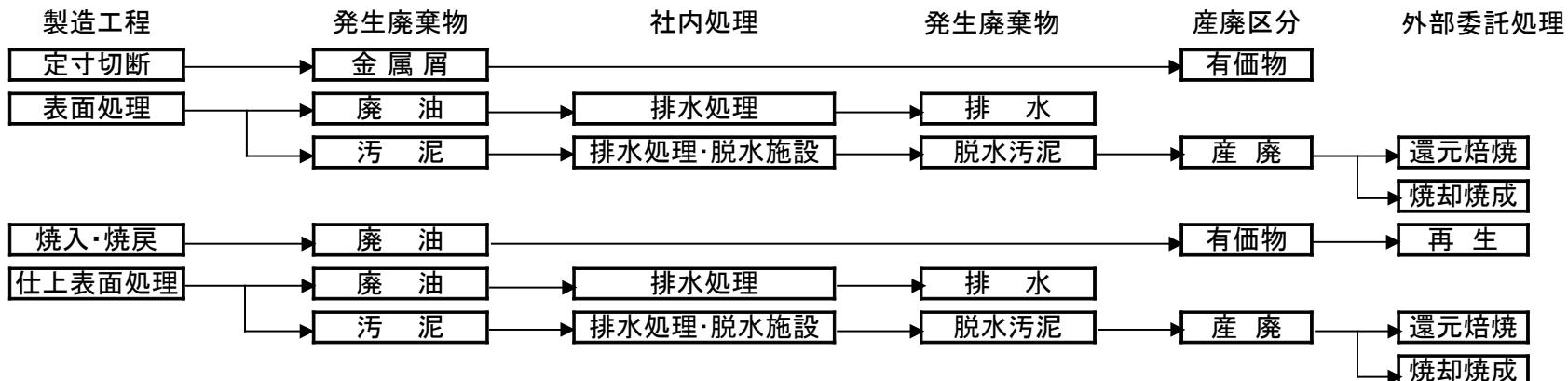
焼

集

OWC製造・廃棄物フローシート

別紙1-3
主要原材料

○部品-1(S)

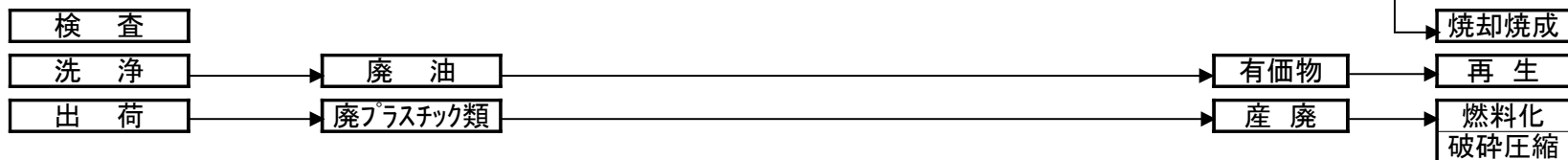


○部品-2(R)

○部品-3(H)



組立

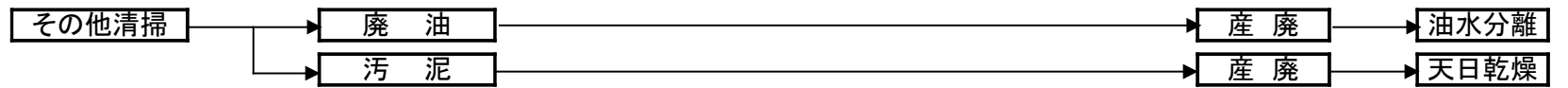



加工品



別紙1-4
その他

OWC製造・廃棄物フローシート

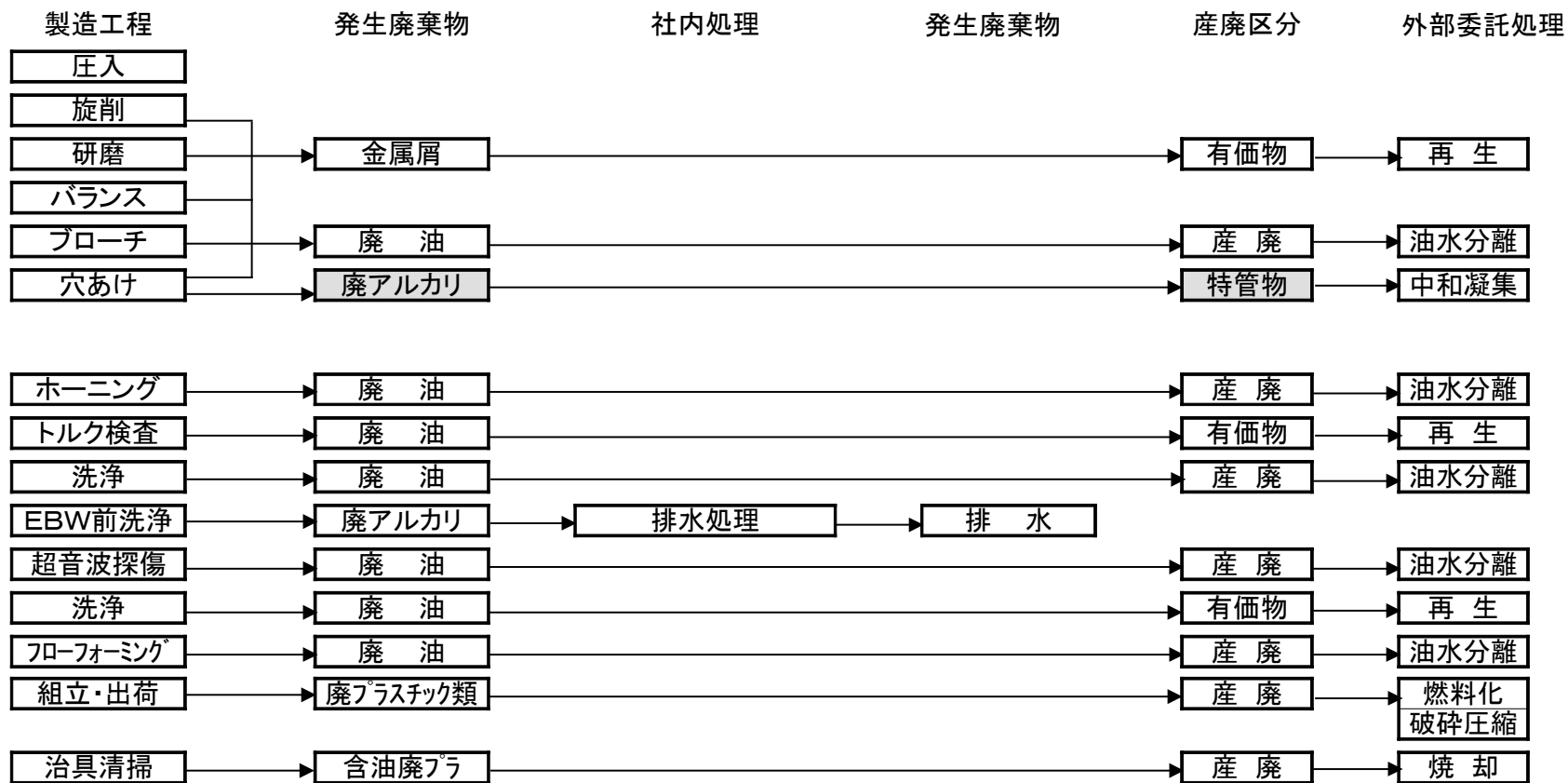


 : 特別管理産業廃棄物

CD製造/その他・廃棄物フローシート

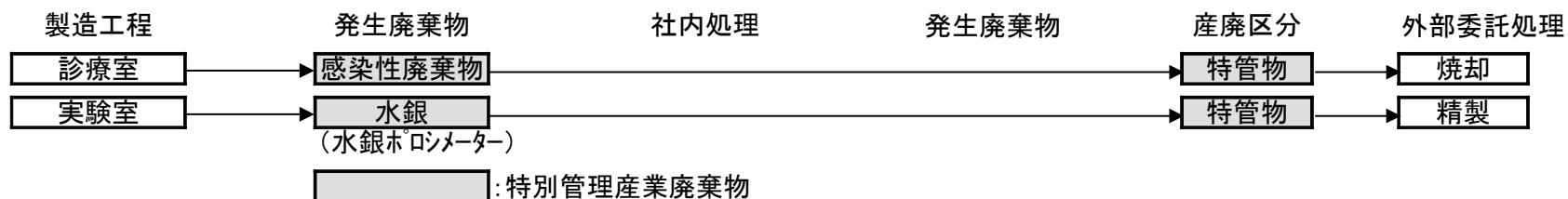
別紙1-5

主要原材料
加工品



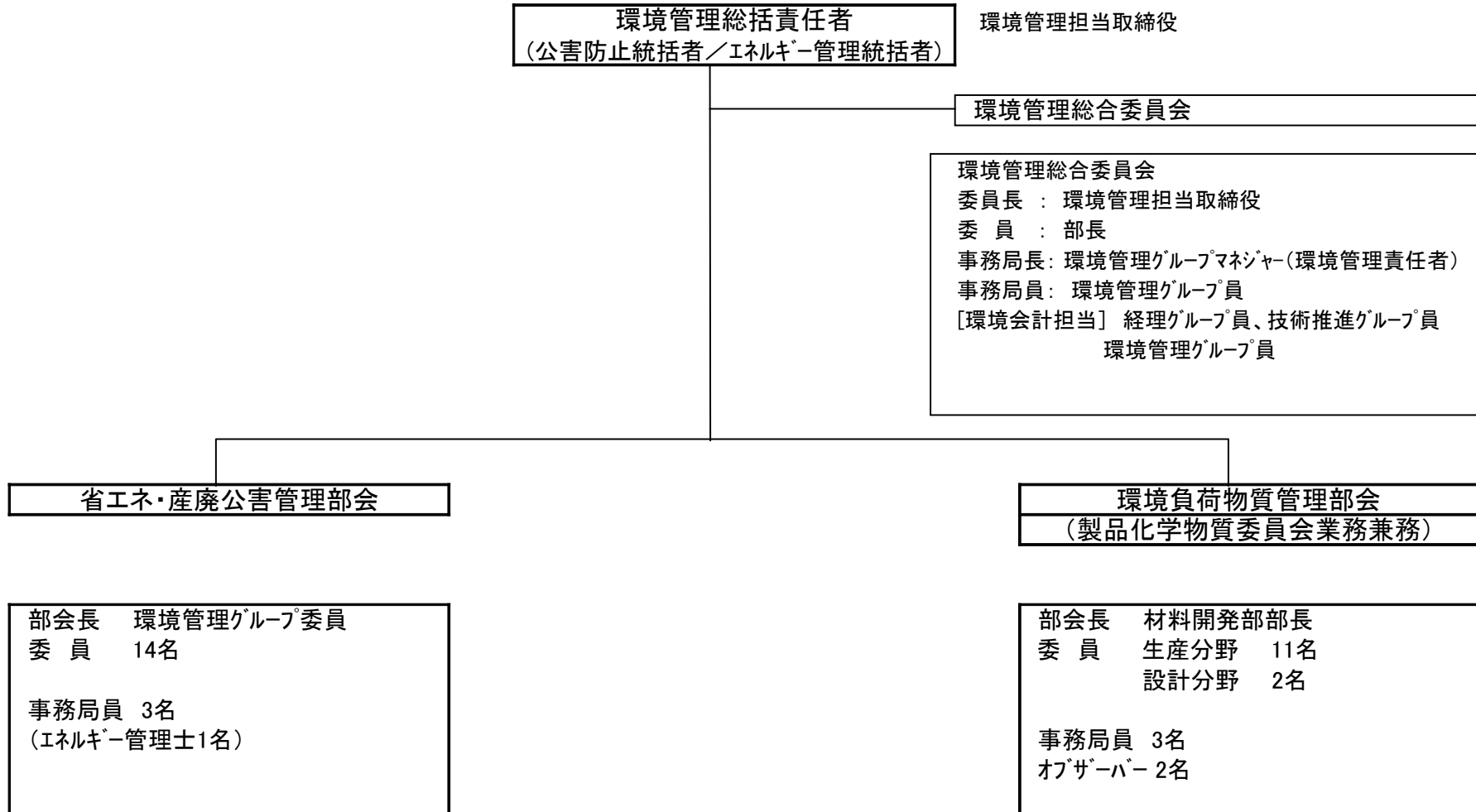
別紙1-6

その他
その他



管理体制図

NW環境管理組織



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

【前年度(令和03年度)実績】

産業廃棄物の種類	排出量(t)
廃プラスチック類(廃摩擦材)	463.1
廃プラスチック類	57.6
汚泥(脱水汚泥)	9359.0
汚泥	495.4
廃油	300.3
廃酸	2.63
廃アルカリ	14.7
ガラス・陶磁器屑	4.09
水銀製品(蛍光灯)	0.253
廃電池類	0.228
木くず	18.4
金属屑	0
*合計	10715.7

(これまでに実施した取組)

- ・廃プラスチック類(廃摩擦材)一歩留まり向上及び不良削減
- ・廃プラスチック類一分別廃棄徹底による廃プラの有価売却対象増
- ・脱水汚泥一脱水機の維持管理(濾布の交換及び洗浄)
:含水率低下による発生量抑制
- ・汚泥一清掃箇所及び清掃頻度見直し
- ・廃油一清掃箇所及び清掃頻度見直し、使用油の長寿命化
- ・廃アルカリ一清掃箇所及び清掃頻度見直し

【目標】

産業廃棄物の種類	排出量(t)
廃プラスチック類(廃摩擦材)	458
廃プラスチック類	57
汚泥(脱水汚泥)	9265
汚泥	490
廃油	297
廃酸	2.6
廃アルカリ	15
ガラス・陶磁器屑	4.1
水銀製品(蛍光灯)	0.3
廃電池類	0.2
木くず	18
金属屑	0.0
*合計	10608.6

(今後実施する予定の取組)

継続取組項目

- ・廃プラスチック類(廃摩擦材)一歩留まり向上及び不良削減
- ・廃プラスチック類一分別廃棄徹底による廃プラの有価売却対象増
- ・脱水汚泥一脱水機の維持管理(濾布の交換及び洗浄)
:含水率低下による発生量抑制
- ・汚泥一清掃箇所及び清掃頻度見直し
- ・廃油一清掃箇所及び清掃頻度見直し、使用油の長寿命化
- ・廃アルカリ一清掃箇所及び清掃頻度見直し

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和03年度)実績】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者 への処理委託量	再生利用業者 への処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量
廃プラスチック類(廃摩擦材)	463.1	144.5	463.1	0	0
廃プラスチック類	57.6	57.6	57.6	0	0
脱水汚泥	468.0	335.0	468.0	0	0
汚泥	495.4	495.4	495.4	0	0
廃油	300.3	300.3	300.3	0	0
廃酸	2.63	2.63	2.63	0	0
廃アルカリ	14.7	14.7	14.7	0	0
ガラス・陶磁器屑	4.09	4.09	4.09	0	0
水銀製品(蛍光灯)	0.253	0.25	0.25	0	0
廃電池類	0.228	0.228	0.228	0	0
木くず	18.4	18.4	18.4	0	0
金属屑(金属水銀)	0	0.0	0.0	0	0
*合計	1824.62	1373.09	1824.62	0.00	0.00
(これまでで実施した取組) 再生利用を行っている処理業者と契約。また、委託先の処理業者が優良認定処理業者になっているかの確認をする。					

【目標】

産業廃棄物の種類	全処理委託量	優良認定処理業者 への処理委託量	再生利用業者 への処理委託量	認定熱回収業者 への処理委託量	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量
廃プラスチック類(廃摩擦材)	458	143	458	0	0
廃プラスチック類	57	57	57	0	0
脱水汚泥	463	332	463	0	0
汚泥	490	490	490	0	0
廃油	297	297	297	0	0
廃酸	2.6	2.6	2.6	0	0
廃アルカリ	15	15	15	0	0
ガラス・陶磁器屑	4.1	4.1	4.1	0	0
水銀製品(蛍光灯)	0.3	0.3	0.3	0	0
廃電池類	0.2	0.2	0.2	0	0
木くず	18	18	18	0	0
金属屑(金属水銀)	0	0	0	0	0
*合計	1806.4	1359.4	1806.4		
(今後実施する予定の取組) 継続的な取組みとして、廃棄物の処理契約を締結する際は、再生利用している業者と契約する。					